キャラクター名
キャシー・モンド

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	ファッションブランド社長
オプショナル		年齢	25	性別	女
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	40 %
出自	名家の生まれ	経験	被害者	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0	1		1
感覚	0	1	0	2		3
精神	6	0	0			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
蛇王の外套		7			

合計装甲：	7	合計回避：	0

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:噂好きの友人	
メモリー:初瀬宏樹	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者	P	N		
アッシュ・レドリック	P 懐旧	N 恐怖		
朝倉アスカ	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
常勝の天才	6	6	セット	視界	シーン(選択)	自動		
効果：シーン1回、対象の攻撃力+[Lv*4]								
戦術	3	6	セット	視界	シーン(選択)	自動		
効果：対象の判定D+Lv								
ファンアウト	1	4	セット	視界	範囲(選択)	自動		
効果：シナリオLv回、対象は移動できるが、この効果を拒否可。移動先は対象が決める。自身対象外								
コンセントレイト	1	2	メジャー	-	-	シンドローム		
効果：C値-LV(下限値７)								
生き字引	1	1	メジャー	至近	-	〈意志〉		
効果：すべての＜情報：＞の代わりに情報判定に使用する。判定D＋Ｌｖ								
アドヴァイス	7	4	メジャー	視界	単体	自動		
効果：C値-1(下限値6)、判定D+Lv								
戦場の魔術師	3	3	メジャー	-	3体	自動	リミット	
効果：シナリオ[Lv+1]回、<アドヴァイス>と組み合わせた判定の対象を3体に変更する								
原初の紫:妖精の手	3	5(4+1)	オート	視界	単体	自動		
効果：シナリオLv回、1回の判定に1回対象の判定の目を10に変更								
勝利の女神	4	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：R1回、対象の判定の達成値+[Lv*3]								
代謝制御	1							
効果：								
プロファイリング	1							
効果：								
効果：								
効果：								

やたら自分が出来る人間アピールするうざい感じがするが、実は過去にちょっとしたトラウマがあり、こうしてないとすぐいじける癖がある。
そういうわけで割とうるさいが、どこか憎めないためそこまで悪感情を抱く人は少ない。過去の顔を見せると大体どうして……とか、戻して！！とか言われる
解せぬ……老けてない！！！※当時と比べれば老けました

ロシア人の父親が日本に惚れ、移住してから生まれた。(国籍的には日本人)
親というか、一族が代々経営に強い家系らしく、生まれてこの方貧困とは無縁の暮らしであり、何一つ不自由なく暮らしていた。
とはいえ、親が過ぎた贅沢を好まないために庶民的な暮らしをしてきた。まあ、衣食住のグレードは庶民よりはちょっとリッチではあったが。

高校時代、スカウトを受けてアイドルになり、一世を風靡するほどの知名度になるグループに所属していたのだが……
17歳の誕生日に交通事故に遭い、瀕死の重傷を負ったはずが、翌日には何事もなかったかのように回復していた。
そう、オーヴァードに覚醒し、このことが原因でアイドルを引退というか……一般社会的には触れてはいけない黒歴史扱いにされた。
その引導を渡したのが、両親の旧知の中であったアッシュ・レドリックであり、
アッシュ語を意訳すると「UGNの方針としては、君をアイドルのままにしておけない。申し訳ないがどうか飲んでくれ。こちらでサポートはする。」
であったのだが、言い方が言い方だったので盛大に誤解を生み、暗い影を落とすことになった。
今ではその誤解は解けつつも、それはそれとしてわだかまりは解けていない。
あと、何の偶然か現場で見かけたことがあり、その時の圧倒的な力が普通に怖いなってなって苦手意識は強まった。

なんかよく分からないが、傷心の中任務の片手間に始めたファッション会社が大いに波に乗り、ティーン女子の間で大流行りしている。
とはいえ、社長業は任務の片手間でやっているので、周りの部下が優秀なのが現在の流行の大きな要因である。
正直、会社を部下に押し付けてUGNの方に専念したいのだが、ノイマンで強化された経営の才能もあって、部下たちとしてはすごい困ることになるので上手くいっていない。助けて……助けて……